

美しい森林づくりのモデル的な取組

名 称 : 「小倉山野鳥の森」間伐モデル林
場 所 : 日光森林管理署 所野小倉山国有林1140ち林小班 日光市
面 積 : 6.39 ha 樹 種:スギ、ヒノキ
林 齢 : 41年 機能類型区分:森林と人との共生林
森林現況 : 育成複層林

○目標とする森林: 日光市街に近く「小倉山野鳥の森」という野鳥観察のフィールドであることから、コナラ等の広葉樹が混交し、下層植生が発達した多様性に富んだ森林

○誘 導 手 法: 長伐期施業(当面は間伐を計画的に実施)

○作 業 経 過: 1997年 第1回間伐 (定性)
2008年 第2回間伐 (列状 伐採率33%)

○施 業 効 果: 間伐によって林内の照度が増え、コナラ等の幼樹や下草の繁茂が期待される



間伐前

撮影: 2008年7月



間伐後

撮影: 2008年12月

【連絡先】 日光森林管理署 0288-22-1069

記載年月: 2008年12月

関東森林管理局 <http://www.kanto.kokuyurin.go.jp>

林野庁 <http://www.rinya.maff.go.jp>